

広報たしる

No. 286

昭和52年7月1日

田代町総務課編集



大隅南部 県立公園に指定

大隅南部の県立公園指定の記念行事が、去る六月八日、県知事や関係機関の方々と共に催されました。

キジの放鳥、記念樹、記念碑などもたてられ、盛大なものでした。

私たちは、この自然を大切に守っていかねければなりません。

(関連記事二ページ)

七月の行事予定

- | | |
|--------|---------------|
| 17日(日) | 郡青協体育大会 |
| 18日(月) | 妊婦相談 |
| 19日(火) | 太陽の子推進員研修会 |
| 20日(水) | 金融協議会 |
| | 各学校終業式 |
| 21日(木) | 子牛せり市 |
| | 全国市町村教育長研修会 |
| 24日(日) | 郡民体育大会 |
| 25日(月) | 各常任委員会別所屬事務調査 |
| 27日(水) | 農業委員会 |
| 29日(金) | こどもソフトボール大会 |



思い出多い古校舎の玄関 幾多の人材を送り出したことか、

- ・大正三、一、二 校舎改築、総工費 四千六百二十八円六十銭。総坪数百六十八坪五分、大正四、三 分教場を廃し、
- ・明治二七、二 校区民の寄贈新校舎三十五坪落成。
- ・明治三四、七 田代尋常高等小学校大原分教場と改称。
- ・大正三、五 桜島爆発による九十二戸の被災者の移住教場が狭いため、午前、午後の二部授業。
- ・大正三、一、二 校舎改築、総工費 四千六百二十八円六十銭。総坪数百六十八坪五分、大正四、三 分教場を廃し、

教育だより

九十一周年を迎えた大原小

稲尾山下にそびえる文化の殿堂、近代的装いを誇る鉄筋校舎。この大原小学校が明治二十年に創立され、今日九十一周年を迎えることは実に今昔の感にたえない思いがします。

学校沿革史のはじめに「大原区域に初めて学校を設けたりは、明治二十年三月に

して大原簡易小学校と称し、生徒数僅かに二十名なり。而して、校舎とてもなく、民屋を借り授業したり。」とあります。

その頃の戸数、人口など知ることはできないが、ここ東部地区民すべての心のふるさととして、親しまれ、愛されて九十一周年。

・明治二〇、三 民家を借り、大原簡易小学校として発足、生徒数二〇

・明治二七、一 田代尋常小学校大原分校となり他の民家に移転

・明治二七、二 校区民の寄贈新校舎三十五坪落成。

・明治三四、七 田代尋常高等小学校大原分教場と改称。

・大正三、五 桜島爆発による九十二戸の被災者の移住教場が狭いため、午前、午後の二部授業。

大原尋常小学校を設立、三学級編成の複式。

・大正一一、四 大原尋常高等小学校となる。職員校長以下五名となる。

・昭和七、一二 校旗制定。平石誠蔵氏寄贈。

・昭和九、一二 校舎増築、八十六坪一合七勺

・昭和一一、六 学林地、向う六十五年間を記念する。

・大原国民学校と改称。

・昭和一一、一〇 国有林四反歩、大原校少年団野外訓練所として訓練、開塾はじまる。

以下は、次の「教育だより」に記載いたします。

・昭和一一、一〇 国有林四反歩、大原校少年団野外訓練所として訓練、開塾はじまる。

・昭和一一、一〇 国有林四反歩、大原校少年団野外訓練所として訓練、開塾はじまる。

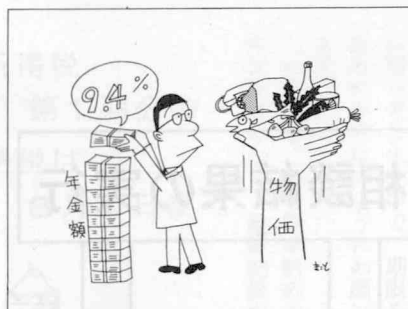
・昭和一一、一〇 国有林四反歩、大原校少年団野外訓練所として訓練、開塾はじまる。

国民年金

九・四%の物価スライド実施

国民年金の老齢、障害、母子準母子、遺児、寡婦などの年金額は、七月分から改定されます。いずれも、従来にくらべて九・四%の増額です。

これは、昭和五十一年度の物価上昇による目減りを補充するためのもので、これが実際に受取れるのは、六、七、八の各月分が支払われる九月の支払期日からになります。



7月分「国民年金」9.4%の物価スライド実施

事件

110番は盗難や交通事故など緊急のときに利用するものです。運転免許の試験日やその他の相談は、大根占警察署(2-0551)または近くの駐在所をご利用ください。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

PTA 専門部の活動

(4) 過番の先生からお話を聞く。この会では、上級生も下級生もなく、自分たちの学校生活が中心になるせいか、お互いの意見交換が活発です。その上、実物や調査結果の表やグラフを用いての発表なので、お互いが自分のこととして反省する時間になつていくようです。なお、善行児童の紹介など上級生が下級生を、下級生が上級生を紹介し合つて和やかなひとときとなっています。

1. 学校緑化計画とその推進
2. 家庭垣根の整枝(六月下旬)
3. 樹木の薬剤散布(七月下旬)
4. 校庭の整備(六月下旬)
5. 聖焼場附近の清掃整備
6. 空びん集め(部落評議員が集荷販売七月：去年の売上げ：二二・九二五円)
7. 窓ガラス拭き
8. 文化部
9. 親の読書と子どもの夕読み
10. 父親参観日／学期一回

あいさつ先手運動!!

「こんにちは」「こんばんは」「どうぞ」「ありがとう」

1. 校外生活指導の推進
2. 子ども会の育成強化(六月、問題点について研修)
3. 長期休みの生徒指導、広報活動の実施
4. 問題児の早期発見と、学校、家庭、部落での補導の徹底

歴史と伝統の田代小学校

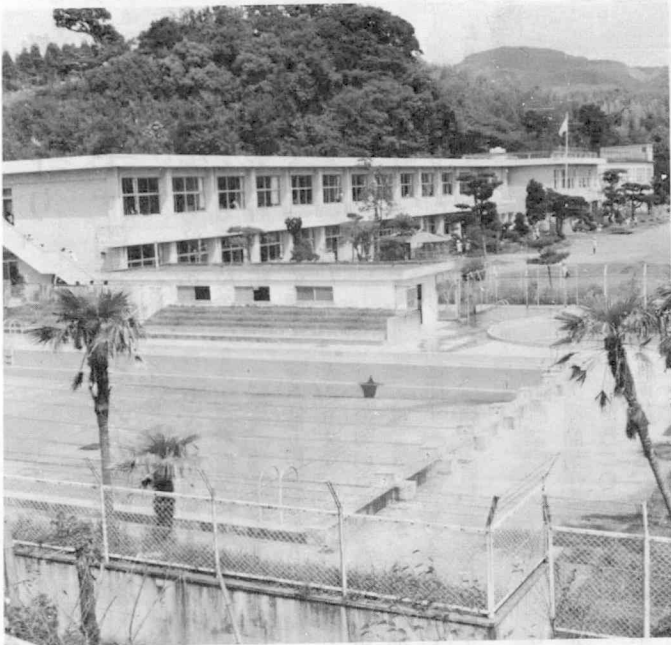
―その3―

現在地に新校舎が建ったのは、明治二十年六月で、学校名も勝尾小学校から田代尋常小学校と変わりました。

しかし、就学する者は漸増増えはいるものの、まだまだの状態で、就学の数を増すためにだいふ苦労されたようです。

「明治三十四年三月田代村学事

組合法ナルモノヲ設ケ不就学者ハ勿論欠席児童ニ対シ出席及就学ヲ奨励セシカハ頓ニ旧観ヲ改メ就学者ヲ増シ出席甚タ宣シク其歩合ノ如キ郡内ニ於テ常ニ最下位ニアリシモノ一躍シテ最上位ヲ占ムルニ至レリ之レ実ニ其組合ノ勢力ニヨルトイエトモ然モ亦其施設当ヲ得ルニアラスン



ハヨク此ノ如キヲ得ンヤ爾来今日ニ至ルマテ其成績顕著ナリトス……」

このようにして、児童数が増えるに従って、校舎敷地共に狭くなったので、校地の周囲の土地およそ五反歩を三百拾円で購入しています。今の金にしていくらになるのでしょうか。

明治三十六年の本校は、尋常科四学級で、男子一〇四名、女子七九名、高等科は二学級で男子三六名、女子三〇名、他に補習学校を附設し、十五名の生徒がいた。職員は九名で、当時の地方の学校としては、割に大きな方と言えるでしょう。

第三代白坂校長の書き始められた沿革史は、一応こゝで終り、次は第四代川辺盛繁校長に引継がれています。

尋常小学校義務教育年限が延長された結果、児童数が急に増えた上、旧来の校舎が古く狭くなったため、改築することになった。時の助役と川辺校長は、視察委員として県下の優良小学校を視察し、それぞれの良いところを取り入れ、校舎改築に取りかかりました。そして、第五代図師校長の時、即ち明治四十三年一月二日新校舎の竣工式が挙行されました。

それより、幾たびか校地の拡張、校舎の増築、新校舎の建築と、歴史を経て、今日の田代小学校となったのです。

歴史と伝統は一日にして創ることはできません。百有余年の歴史と伝統に生きる田代小学校は、その時代時代の村民、町民の方々の教育に対する熱意、関心、協力の賜物だといつくづく思います。そして、それは無言のうちに、先人から学び、受けついできたもので、それが町風であり、そのうるわしい町風の中で、田代小の伝統が生き続けるのだと思うことです。

うまい話しにご用心

一、訪問販売

(1) 法律では、家庭や職場における販売に限らず、店舗や店舗とみなし得る場所以外の場所で行なわれる販売を「訪問販売」としています。

(2) 規制

- 販売業者の名前、商品消費に明示する。
- 販売業者は、購入の申込み販売をしたときは、販売条件などの内容を明らかにした書面を交付する。
- 消費者は、書面を受取った

日を含めて四日以内であれば、無条件で解約できます。ただし、現金購入や消耗品しました。

公序良俗（社会秩序や良き社会風俗）に違反する理由として、必ず限界がきて破たんする。非生産的であり、賭け的な要素がある。

○ 勧誘にあつたり、詐欺的な誇大宣伝をしている。

○ 隣人や親類との信頼関係を破壊したり、マルチ商法の背景となるなど、社会的に悪影響がある。

などが上げられています。

本件は現在、東京高等裁判所で係争中です。

夏です

水難事故を防ぎましょう

夏休みです

事故から子どもを守りましょう